

## 敦賀港定期コンテナ航路（中国(新規)・韓国航路）就航 歓迎式典が開催されました！

平成24年11月9日(金)、敦賀港（鞠山南地区）国際物流ターミナル岸壁において、敦賀港定期コンテナ航路（中国（新規）・韓国航路）就航を記念した式典が開催されました。

歓迎式典では、冒頭に西川福井県知事が「中国・韓国との利便性が向上することで新しい輸送需要を掘り起こすことができるものと考えており、暮らしの経済循環に繋がってくれるものとおおいに期待しております」と挨拶があり、続いて河瀬敦賀市長から「1600年前から国際港としての役割を果たしてきた敦賀の港として、もっともっと活用して頂くことが重要であると認識しながら敦賀市として、また国際物流ターミナル株式会社として頑張っていきたい」と挨拶され、最後に汎州海運(株)の李相福社長から「この新規航路がお客様の物流を助け、地域経済に寄与できると確信している」と挨拶がありました。

新規航路は、汎州海運(株)により敦賀港に週1便で寄港します。これにより敦賀港では、企業のニーズが高く、県にとって長年の悲願であった中国航路が6年ぶりに復活し、国際航路が4便から5便に増加したことで益々の貨物量増加が期待されております。



西川福井県知事の挨拶



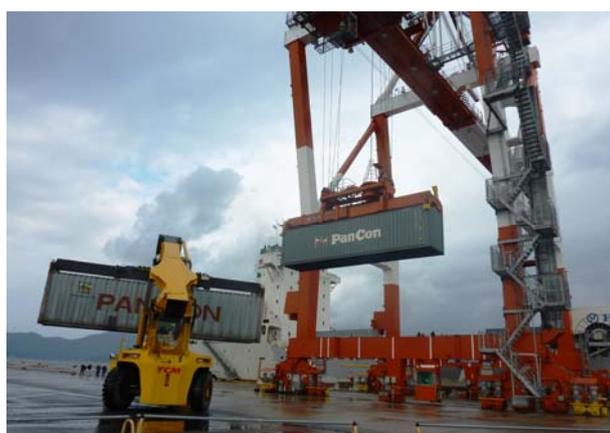
河瀬敦賀市長の挨拶



汎州海運(株)李相福社長の挨拶



記念品の贈呈



荷役の様子



コンテナ船「イースタン・エクスプレス」840TEU型